



# **TAD**

**TAD-C600**  
PREAMPLIFIER




OWNER'S MANUAL

# 安全上のご注意

- 安全にお使いいただくために、必ずお守りください。
- ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

<p>この取扱説明書および製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。</p>	<p> <b>警告</b></p> <p>取り扱いを誤ると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p>	<p> <b>注意</b></p> <p>取り扱いを誤ると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。</p>
---	--	---

## 絵表示の例

-  △ 記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。
-  ⊘ 記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。
-  ● 記号は行動を強制したり指示したりする内容を示しています。

## 警告



### 異常が発生したときは、すぐに使用をやめる

- 音が出ない、煙が出ている、変なにおいがする、変な音がするとき、電源プラグを抜く
- 本機を落としたり、内部に水や異物が入ったりしたときは、電源プラグを抜く

そのままお使いになると、火災・感電の原因となります。電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。



### 風呂場・シャワー室など水滴のかかる場所では使用しない

火災・感電の原因となります。



### 本機をぬらさない

火災・感電の原因となります。



### 本機の上に水などの液体の入った容器を置かない

本機の上に、花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器を置かないでください。本機の上に水などの液体がこぼれたり、液体が中に入ったりすると、火災・感電の原因となります。



### 本機の上に火のついたローソクなど裸火を置かない

火災の原因となります。



### 表示された電源電圧（交流 100 V、50 Hz/60 Hz）以外の電圧で使用しない

火災・感電の原因となります。



### 不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところに置くと、倒れたり落下したりしてけがの原因となります。



## 通風を妨げない

本機の内部に熱がこもり、火災・感電の原因となります。また、次のような使い方をしないでください。

- あお向け、横倒し、逆さまにする
- 押し入れなど、風通しの悪い狭い場所に設置する
- じゅうたんやふとんの上に置く
- テーブルクロスなどをかける



## ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない

感電の原因となります。



## 電源プラグや電源コードを破損しない

電源プラグや電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。破損して、火災・感電の原因となります。また、電源プラグや電源コードの修理は、販売店にご依頼ください。



## 電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因となります。また、緩んだコンセントは使用しないでください。



## 電源プラグにほこりがたまらないよう、定期的に掃除をする

湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因となります。電源プラグを抜いてから、乾いた布で拭いてください。



## カバーを外したり、改造したりしない

本機の内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。



## 雷が鳴り出したら、本機や電源プラグには触れない

感電の原因となります。

## ⚠ 注意



## 油煙、湿気、ほこりの多い場所に置かない

調理台や加湿器などのそばに置くと、油煙・火災・感電の原因となることがあります。



## 直射日光が当たるところなど、温度が異常に高くなる場所に放置しない

火災・感電の原因となることがあります。



## 本機を他の機器と接続するときは電源を切る

本機をオーディオ機器、スピーカーなどに接続するときは、それぞれの取扱説明書をよく読み、電源を切ってから接続してください。また、接続するときは指定されたケーブルを使用してください。



## 本機の上に重いものや、外枠からはみ出るような大きさのものを置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下したりしてけがの原因となることがあります。



## 本機の上に乗らない

倒れたり、壊れたりしてけがの原因となることがあります。



## 付属の電源コードは本機の専用部品です

付属の電源コードは、本機のみで使用することを目的とした専用部品です。他の機器では使用できません。本機では、付属の電源コード以外、使用しないでください。他の電源コードを使用した場合、本来の性能が出なかったり、電流容量の不足で発熱したりして、火災・感電の原因となることがあります。



## 長期間お使いにならないときは、電源プラグをコンセントから抜く

本機の使用環境温度範囲は5℃～35℃、使用環境湿度は85%以下です。

風通しの悪い所や湿度が高すぎる場所、直射日光(または人工の強い光)の当たる場所に設置しないでください。

D3-4-2-1-7c\_A1\_Ja

# もくじ

安全上のご注意.....	2
はじめに.....	5
主な特長.....	5
お使いになる前に.....	6
付属品の確認.....	6
リモコンに電池を入れる.....	6
各部の名称とはたらき.....	7
リモコン.....	9
設置と接続.....	10
設置.....	10
接続.....	11
操作.....	12
入力を切り替える.....	12
音量を調節する.....	12
設定を切り替える.....	12
プリアンプ連動機能.....	13
演奏するには.....	14
電源を入れる前に.....	14
操作方法.....	14
故障かな?と思ったら.....	15
仕様.....	16
保証とアフターサービス.....	17
本機のお手入れ.....	18

## 所有する喜びと誇り、聴く喜びと感動のために

「TAD」という名称は「Technical Audio Devices」の頭文字から命名されました。これは、1975年にパイオニア（株）において最高級スピーカー開発プロジェクトの発足時、技術顧問として参画し、当時 USA プロオーディオ界の第 1 人者であった故バート・ロカンシーの「基本に忠実な技術こそ本物の技術であり、技術志向に傾くことなく、常に音質を最重視する技術こそ本物の技術である」という理念に基づく、「綿密な理論検討と正確な実験に裏付けられた工学的アプローチ」の手法を表現したものです。

自らのスピーカー理論を実践するための新境地を見出したバート・ロカンシーと、その思想と哲学を受け継ぐエンジニアたちの、決して妥協を許さぬ技術への探究心が、「TAD」という存在そのものなのです。

この「TAD」の意思を受け継ぎ、TECHNICAL AUDIO DEVICES LABORATORIES, INC. は設立されました。

私達は、当社の持つ最高の技術で皆様へ聴く喜びと感動を提供していきたいと考えています。

## 主な特長

TAD-C600 は、TAD が長年培ってきた音響技術と最新のテクノロジーを駆使し、感動の音を目指して作り上げたプリアンプです。

### 1. 対称性 Duallogic-Circuit Technology

オーディオ信号を正確に伝送するためには、正負の音楽信号に対して伝送回路の動特性が完全に同一で、外部雑音やグラウンド電位の変化に対しても影響されないことが重要です。正負の音楽信号を正確に伝送するために、入力から出力までフルバランス回路としています。

また、ステレオアンプの場合は、左右チャンネルの同一性が非常に重要です。左右チャンネルの同一性を保つために、同一基板ユニットを左右に配置し、配線の長さやスタイリングを同一にするなど、理想を追求しました。

### 2. 振動制御技術

仕上がり厚さ 33 mm、質量 15 kg のアルミニウム無垢材シャーシは、スピーカーなど外部からの振動に強く、電氣的にもインピーダンスの低い安定したアース電位が得られます。

また、スパイク形状インシュレータは、シャーシが設置面から受けるストレスを開放し、さらに 3 点支持とすることで凸凹によるガタつきを皆無とします。

### 3. 低雑音設計

電源トランスの振動や漏洩磁束の影響を排除するため、本体部／電源部の 2 筐体構成としました。電源部を別筐体とすることで、オーディオ用の電源トランスには 400 VA クラスの超強力電源トランスを搭載することができ、オーディオ信号に含まれるあらゆる信号を正確に伝送します。

Duallogic-Circuit Technology によるフルバランス設計、パネル上の操作キーや LED 表示器・照明を直流で動作させる設計は、高忠実度とローノイズ化を高い次元で両立させます。

### 4. シンプル・高音質信号伝送

TAD は、シンプルな信号経路が正確で高音質を生むと考えています。

TAD-C600 に入力された信号は、電子ボリュームで音量調整されたあと、電圧増幅 1 段による出力段回路を経て出力されるシンプルな構成で、信号ラインに直列に入るスイッチ接点は INPUT SELECTOR のみです。

電子ボリュームは、TAD が開発したラダー抵抗切替型を採用し、超高精度 ATT 特性と低ひずみ率（0.0005 % 以下 / 1 Vrms 入力時）を誇ります。また、入出力端子のインピーダンス変化が少なく、音量を下げたときの音痩せが少ないという特徴もあります。数々の特徴を有する新型電子ボリュームを左右独立配置とすることで、左右の同一性、正確な音像定位と音場を実現しています。

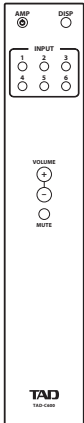
なお、音質悪化の原因となる出力の信号切替や分岐、後段接続機器同士の干渉などを排除するため、電子ボリュームより後段は、独立した 2 系統の回路構成としています。

# お使いになる前に

## 付属品の確認

付属品として、次のものが入っていることを確認してください。

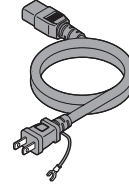
- リモコン× 1



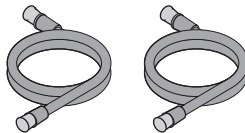
- 単4形乾電池 (IEC R03) × 2



- 電源コード× 1

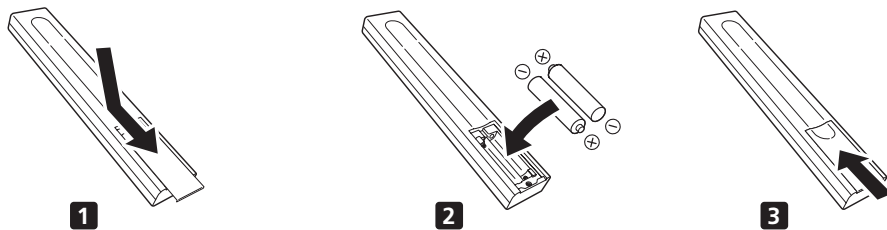


- DC コード× 2



- ポリッシングクロス× 1
- フェルト× 2
- オーナズクラブ登録カード× 1
- 個人情報保護シール× 1
- 保証書× 1
- 取扱説明書 (本書)

## リモコンに電池を入れる



本機に付属している電池は動作確認用で、短期間で寿命になる場合があります。リモコンの操作範囲が極端に狭くなってきたら、電池を交換してください。

### 警告

- 電池を直射日光の強いところや、炎天下の車内・ストーブの前など、高温の場所で使用・放置しないでください。電池の液漏れ、発熱、破裂、発火の原因になります。また、電池の性能や寿命が低下することがあります。
- 電池は幼児の手の届くところに置かないでください。万一飲み込んだ場合には、ただちに医師に相談してください。

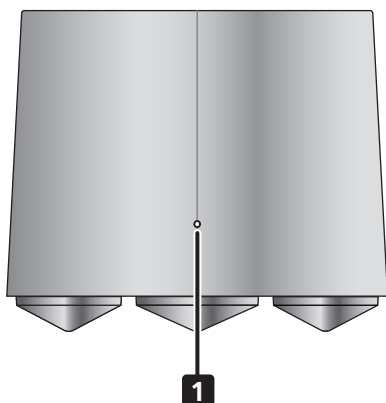
### 注意

電池を誤って使用すると、液漏れしたり破裂したりする危険性があります。次の点について特にご注意ください。

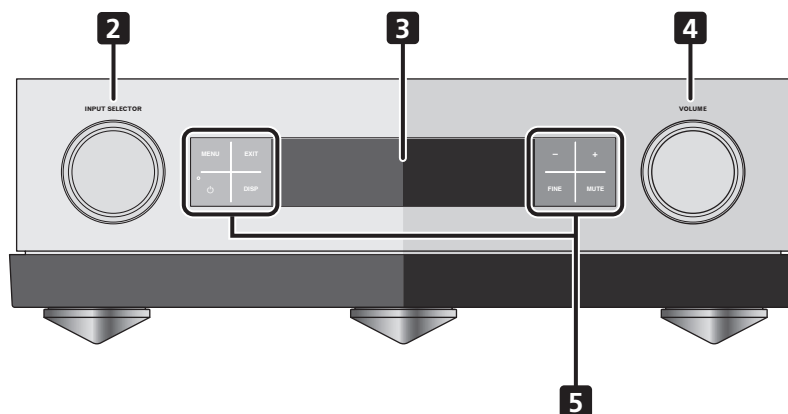
- 新しい電池と古い電池、種類の異なる電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池のプラスとマイナスの向きを電池ケースの表示どおりに正しく入れてください。
- 電池は単4型マンガン乾電池 (R03) または単4型アルカリ乾電池 (LR03) を使用してください。
- 長い間 (1 カ月以上) リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐため、乾電池を取り出してください。液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。
- 不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示 (条例) に従って処理してください。

## 各部の名称とはたらき

電源部



本体部



### 1 電源インジケータ

電源 (POWER) の状態が表示されます。  
 オレンジ色点灯：オン (動作可能状態)  
 赤色点灯：スタンバイ (待機状態)

### 2 INPUT SELECTOR (入力切替つまみ)

回転させると、入力が切り替わります。

### 3 リモコン受光部

9 ページの「リモコンの操作について」をご覧ください。

### 4 VOLUME (音量調節つまみ)

本機の音量を調節します。  
 右に回すと音量を上げ、左に回すと音量を下げます。

### 5 操作キー

文字やマークの部分进行操作します。

#### MENU ボタン

設定メニューに切り替わります。ボタンを押すと設定モードが変わります。

#### EXIT ボタン

各種設定を決定するときに押します。

### ⦿ 電源スイッチ

電源 (POWER) のオン/スタンバイが切り替わります。  
 オレンジ色点灯：オン (動作可能状態)  
 赤色点灯：スタンバイ (待機状態)

### DISP ボタン

ボタンを押すと、通常点灯 → 消灯 → 通常点灯の順に、ディスプレイが切り替わります。電源をオンにすると、電源をオフにする前の設定になります。

### + / - ボタン

各種設定を選択するときに押します。

### FINE ボタン

音量の調節レベルが 1 または 0.5 ステップに切り替わります。

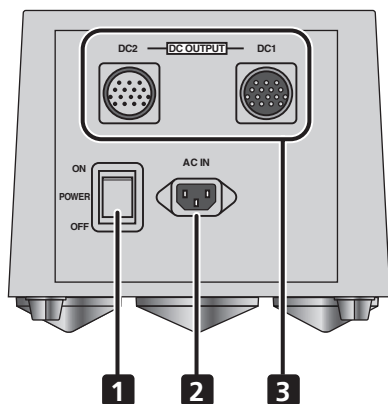
### MUTE ボタン

再生中の音楽を消音します。

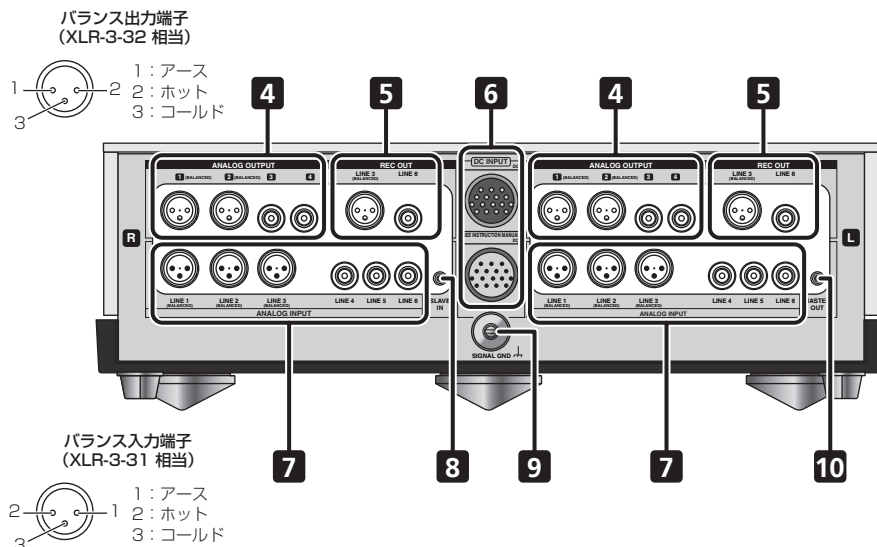
## ⚠ 注意

電源の供給を完全に停止するためには、電源プラグ (遮断装置) を抜く必要があります。本機を電源コンセントの近くに設置し、電源プラグ (遮断装置) に簡単に手が届くようにしてください。

## 電源部



## 本体部



### 1 主電源スイッチ (POWER ON/OFF)

主電源のオン/オフを行います。上側を押すと電源がオンになり、リモコンまたは本体部の **o** ボタンで電源オン/スタンバイ操作ができるようになります。下側を押すと電源がオフになります。

### 2 AC IN 端子

付属の電源コードを接続します。

### 3 DC (DC1/DC2) 出力端子

付属の DC コードを接続し、本体部と接続します。

### 4 出力端子 (R/L)

接続するパワーアンプの端子のタイプにあわせて、バランス (XLR-3-32) またはアンバランス (RCA ピンジャック) を選択できます。

### 5 REC OUT 端子 (LINE3/LINE6)

アナログ録音機能のある機器と接続します。INPUT SELECTOR を使って、出力を切り替えることができます。LINE3 入力の場合は、LINE3 から出力されません。LINE6 入力の場合は、LINE6 から出力されません。

### 6 DC (DC1/DC2) 入力端子

付属の DC コードを接続し、電源部と接続します。

### 7 入力端子 (R/L)

接続する機器の端子のタイプにあわせて、バランス (XLR-3-31) またはアンバランス (RCA ピンジャック) を選択できます。

### 8 SLAVE IN 端子

13 ページの「プリアンプ連動機能」をご覧ください。

### 9 SIGNAL GND 端子

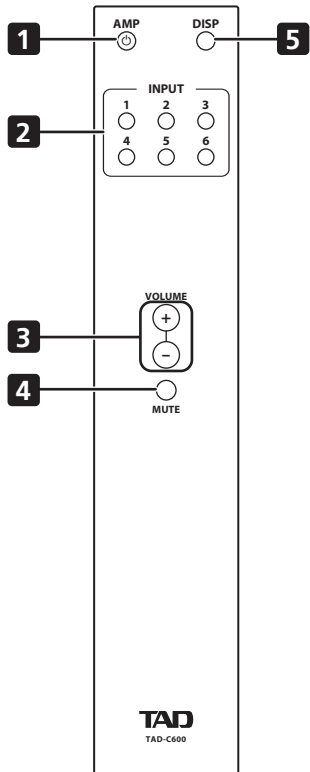
複数の機器の信号用グラウンドと線材で接続します。複数の機器の電位差をなくして安定させたい場合に使用します。安全用アース端子ではありません。

### 10 MASTER OUT 端子

13 ページの「プリアンプ連動機能」をご覧ください。



## リモコン

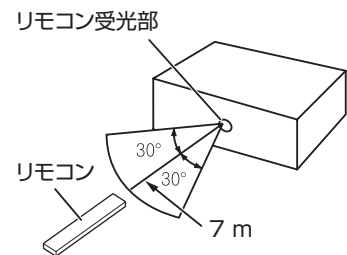


- 1 AMP のボタン**  
本体部の電源 (POWER) をオン/スタンバイに切り替えます。
- 2 INPUT ボタン**  
入力をアナログに切り替えます。  
1 : LINE1 に切り替えます。  
2 : LINE2 に切り替えます。  
3 : LINE3 に切り替えます。  
4 : LINE4 に切り替えます。  
5 : LINE5 に切り替えます。  
6 : LINE6 に切り替えます。
- 3 VOLUME (+ / -) ボタン**  
+を押すと音量を上げ、-を押すと音量を下げます。
- 4 MUTE ボタン**  
再生中の音楽を消音します。
- 5 DISP ボタン**  
ディスプレイの点灯/消灯を切り替えます。

### リモコンの操作について

本機をリモコンで操作するときは、図の範囲内でリモコンを前面のリモコン受光部に向けてください。

- リモコン受光部との間に障害物があったり、受光部との角度が悪かったりするとリモコン操作ができないことがあります。
- 赤外線を出す機器の近くで本機を使用したり、赤外線を利用した他のリモコン装置を使用したりすると、誤動作することがあります。逆に赤外線によってコントロールされる他の機器の使用時にこのリモコンを操作すると、機器によっては誤動作することがあります。
- リモコンの操作可能範囲が極端に狭くなってきたら電池を交換してください。
- 直射日光や蛍光灯の強い光がリモコン受光部に直接当たると、リモコン操作ができないことがあります。そのようなときは、設置場所を変えたり、蛍光灯を離したりしてください。



# 設置と接続

## 設置

### 警告

- 本機を設置する場所は、本機の重量に十分耐えられる強度を持つ、安定した水平・平面な場所をお選びください。倒れるなどして、事故の原因になります。棚などの上に置く場合は、必ず強度の確認を行ってください。
- 放熱のため、本機の上にものを置いたり、布やシートなどをかぶせたりした状態でのご使用は絶対におやめください。異常発熱により故障の原因となる場合があります。
- 電源部と本体部は、それぞれ3本の大きな足で支えられています。また、そのほかに補足的に2つの小さな足があります。この補助足は急激な加重がかかった際に、製品が直接床にぶつかることを防ぐ役割をして、通常は床には接していません。

### 注意

- 本機を設置する場合は、放熱をよくするために、本機の天面から20 cm以上、背面から20 cm以上、側面から20 cm以上のすきまをあけてください。すきまがないと、内部に熱がこもり、故障の原因となることがあります。
- 本機をじゅうたんやクッションなど、冷却用の空気の流れを妨げる柔らかなものの上に置いたり、狭い場所に置いたりしないでください。
- TAD-C600の足は、電源部、本体部ともに3点支持のスパイクタイプになっているため、設置面にキズがつく恐れがあります。キズつきを防ぐためには、付属のフェルトを敷いてから設置することをお勧めします。付属のフェルトを敷いて設置した場合でも、TAD-C600を引きずると、設置面にキズがつくことがありますのでご注意ください。

## 接続

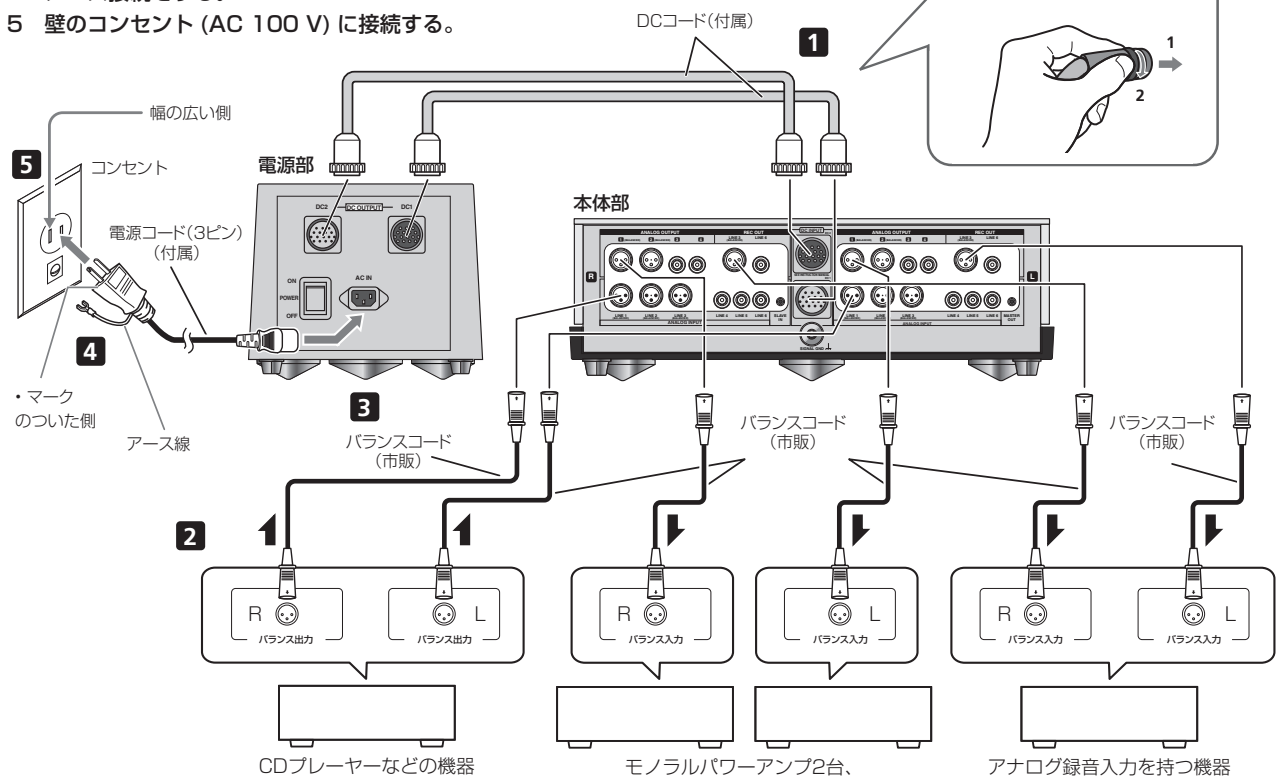
### ⚠ 注意

- TAD-C600 および各コンポーネントの電源スイッチは、接続がすべて終わるまで、オンにしないでください。
- 機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードは最後に接続してください。
- 電源コンセントにアース端子がない場合は、販売店、工事業者等に工事を依頼してください。
- DCコードは、必ず本機に付属している TAD-C600 とラベルが貼ってあるものを使用してください。TAD-D600 (CD プレーヤー) の DC コードは使用できません。



- アース接続は、必ず主電源プラグを主電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず主電源プラグを主電源から切り離してから行ってください。
- アース線は、絶対に電源コンセントに挿入しないでください。

- 1 本体部と電源部を付属の DC コードを使って接続する。
- 2 各機器を接続する。  
各機器の取扱説明書に従って接続を行ってください。
- 3 付属の電源コードを TAD-C600 の AC IN 端子に接続する。
- 4 アース接続をする。
- 5 壁のコンセント (AC 100 V) に接続する。



上図は、バランスコードによる接続を示しています。

入力端子 4、5、6、出力端子 3、4、REC OUT (LINE6) に接続する場合は、市販の RCA コードをお使いください。

※アナログ録音機の入出力端子は、バランス接続の場合、LINE3に接続してください。RCAケーブルで接続する場合はLINE6に接続してください。

# 操作

## 入力を切り替える

INPUT SELECTOR (入力切替つまみ) を回すと、入力が切り替わります。

### メモ

- 電源オフ/スタンバイから電源をオンにすると、電源オフ/スタンバイにする前の入力状態に戻ります。
- 電源プラグを抜き差ししたあとや、主電源を切ったあとに再び電源を入れると、LINE 1 (初期値)に戻ります。

## 音量を調節する

VOLUME (音量調節つまみ) を回すと、音量を調節できます。右に回すと音量が上がり、左に回すと音量が下がります。

FINE ボタンを押すと、次のように音量調節モードが切り替わります。

- FINE モード  
音量を 0.5 ステップごとに調節します。
- ノーマルモード  
音量を 1 ステップごとに調節します。

## 設定を切り替える

MENU ボタンを押すと、本機の設定が切り替わります。MENU ボタンを押す回数により、設定が 1 ~ 5 に切り替わります。

設定は、+ / - ボタンで選択してから、EXIT ボタンを押して決定します。

### 1. L-R バランス設定

+ ボタンを押すと L チャンネルのレベルが下がり、R チャンネル側に音像が移動します。- ボタンを押すと R チャンネルのレベルが下がり、L チャンネルに音像が移動します。初期値は L/R ともに 0 に設定されています。

### 2. 入力レベル設定

本機に音量の小さい機器を接続したとき、音量の大きい入力機器との音量差をあわせるため、入力ごとに入力レベルを設定します。  
- 10 dB ~ +20 dB まで設定できます。

### 3. PASS スルー設定 (LINE2、LINE5 のみ)

AV アンプなどのプリアウト出力を本機の LINE2 入力または LINE5 入力に接続したときに、本機の音量を固定します。

MUTE ボタンを押したあとに + / - ボタンを押すと、設定が切り替わります。MUTE 中は音が出ません。

PASS - - - -	設定なし (初期値)
PASS L-2	PASS スルー設定 : LINE2
PASS L-5	PASS スルー設定 : LINE5

## ⚠ 注意

- PASS スルー設定をした入力端子は音量調節ができなくなるため、音量調節のできない機器を接続すると、大音量が出力されます。スピーカーが破損するなどの危険性がありますので、必ず音量調節機能のある機器を、音量を下げた状態で接続してください。
- ### 4. オートパワーダウンモード
- 本機を使用していないときに、自動的にスタンバイに移行します。+ ボタンを押すとオン (ECO ON) に、- ボタンを押すとオフ (ECO OFF) に設定できます。オンに設定されているときは、3 時間以上ボリューム調節操作やキー入力操作がないと、スタンバイに移行します。工場出荷時には、オフに設定されています。

## 5. 出力設定

本機の出力状態を設定できます。+/- ボタンを押すと、次のように設定が切り替わります。

0-13 0-24	すべてから出力できます。(初期値)
0-13 ----	1と3から出力できます。
---- 0-24	2と4から出力できます。

## 6. All reset

本機のスタンバイ中に MUTE ボタンを押しながら MENU ボタンを押すと、設定が工場出荷状態に戻ります。

## プリアンプ連動機能

市販の 3.5 φ ステレオミニケーブルを使って、本機の MASTER OUT 端子ともう一台の本機の SLAVE IN 端子を接続すると、2 台以上のプリアンプの入力切替と音量調節を連動させることができます。

この機能を使用して、本機をモノラルパワーアンプと組み合わせ、究極のステレオ音場再生を行うことができます。さらに、4ch 以上のプリアンプとして、マルチチャンネル再生をすることもできます。

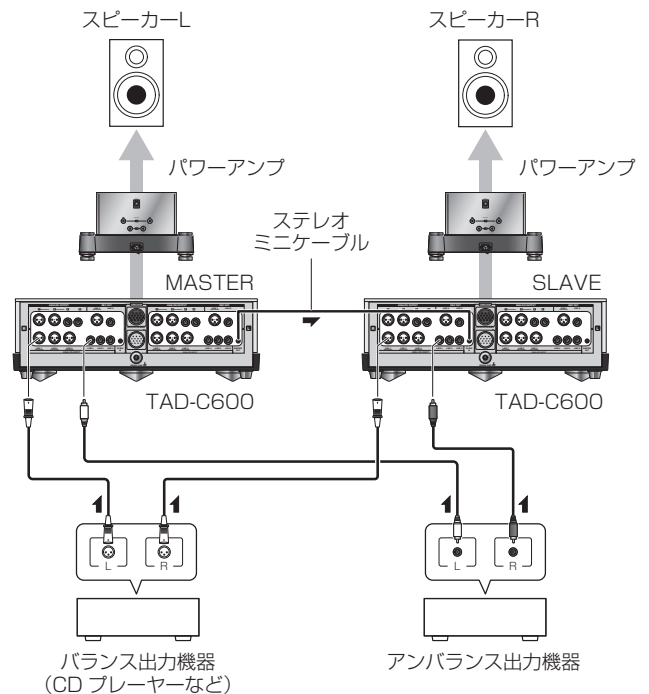
SLAVE IN 端子に接続された側の機器が SLAVE モードになります。

### SLAVE モード時の動作

- SLAVE モードになると、ディスプレイに次のように表示されます。

L-1 50 → Sub.1 50

- SLAVE モード時に、本体キーで設定が可能なものは次のとおりです。
  - L-R バランス設定、入力レベル設定、PASS スルー設定、オートパワーダウンモード、出力設定
- SLAVE モード時には、MASTER 側の機器から SLAVE 側の機器を操作します。リモコン操作は MASTER 側の機器に向けて行います。
- SLAVE モード時には、電源オフ、音量調整、入力切替、ミュート、DISP、オートパワーダウン機能は、MASTER 側の機器で操作を行い、SLAVE 側の機器からは操作ができなくなります。



### メモ



- ステレオミニケーブルを使って、本機の MASTER OUT 端子と TAD-M4300、TAD-M2500 の 12 V トリガー入力端子を接続すると、本機の電源オン/スタンバイ操作をすることにより、TAD-M4300、TAD-M2500 の電源オン/スタンバイ操作ができるようになります。必ずステレオミニケーブルをお使いください。モノラルミニケーブルを使用するとノイズが発生します。
- 本機のトリガー出力電圧が 5V のため、TAD-M4300、TAD-M2500 以外の 12 V トリガー入力を持つ機器と接続した場合、上記の電源オン/スタンバイの動作は保証できません。
- 2 台以上のプリアンプを縦続接続することもできますが、3 台以上を接続した場合、動作に遅れが生じます。

# 演奏するには

## 電源を入れる前に

入力端子や出力端子が確実に接続されていることを確認してください。

## 操作方法

1. 主電源スイッチがオンの状態であることを確認し、本体部前面の  電源スイッチ（またはリモコンの AMP  ボタン）を押して、電源を入れる。  
フロントパネルの電源インジケータがオレンジ色に点灯していることを確認してください。
2. 本機の VOLUME を最小の位置にする。
3. パワーアンプの電源スイッチをオンにする。  
本機の VOLUME で、音量を調整します。
4. 演奏を終えるときは、本機の VOLUME を最小にし、パワーアンプと本機の電源スイッチをオフにする。



## 音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所への思いやりを十分にしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉め、お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

## 故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら次のことを調べてみてください。意外なミスが故障と思われがちです。また、本機以外が原因の場合も考えられます。ご使用の他の機器および同時に使用している電気機器も、あわせてお調べください。次の項目を調べても症状が直らない場合は、修理をご依頼ください。

症 状	原因と思われること	処 置
入力をあわせても音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 入力端子の接続が正しくない。</li> <li>● 消音（ミュート）状態になっており、ディスプレイのボリューム表示位置に "----" が点滅している。</li> <li>● 音量が下がっている。</li> <li>● 出力設定で、パワーアンプに接続されている端子が選択されていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 接続を再確認する。</li> <li>● 本体またはリモコンの MUTE ボタンを押して、消音を解除する。</li> <li>● 音量を調整する。</li> <li>● 出力設定で、パワーアンプに接続されている端子を選択する。（13 ページ）</li> </ul>
無入力でもノイズが聞こえる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源そのものにノイズが残っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● パソコンなどのデジタル機器とタコ足配線になっていないか確認する。</li> </ul>
電源が切れない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● SLAVE IN 端子に信号が入力されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● MASTER 側の機器で電源を切る。</li> </ul>
電源が自動的に切れる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● オートパワーダウン機能がオンになっていると、3 時間以上本機の操作がない場合に電源が切れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● オートパワーダウン機能をオフにする。（12 ページ）</li> </ul>
ディスプレイ表示が見えない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 消灯（ディスプレイオフ）になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● DISP ボタンを押して消灯を解除する。</li> </ul>
リモコンが操作できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● リモコンの電池が消耗している。</li> <li>● 距離が離れすぎている。角度が悪い。</li> <li>● 途中で信号をさえぎるものがある。</li> <li>● 蛍光灯などの強い光がリモコン信号受光部に当たっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新しい電池に交換する。</li> <li>● 7 m 以内、左右 30° 以内で操作する。</li> <li>● 障害物を取り除くか、操作する場所を移動する。</li> <li>● リモコン受光部に光が直接当たらないようにする。</li> </ul>

# 仕様

## ■アンプ部

入力端子 .....	バランス × 3、アンバランス × 3
出力端子 .....	バランス × 2、アンバランス × 2
定格出力電圧 .....	バランス 1.5 V、アンバランス 0.75 V
最大出力電圧 .....	バランス 16 Vrms、アンバランス 8 Vrms
定格歪率 T.H.D. ....	0.0015 %
IHF SN .....	120 dB
周波数特性 .....	10 Hz ~ 100 kHz - 1 dB
利得 .....	12 dB
最大許容入力電圧 .....	バランス 20 V、アンバランス 10 V
REC 出力端子 .....	バランス × 1、アンバランス × 1

## ■電源部・その他

電源電圧 .....	AC 100 V、50 Hz /60 Hz
消費電力 .....	52 W (待機時消費電力 0.5 W 以下)
外形寸法(幅 × 高さ × 奥行)	
本体部 .....	450 mm × 150 mm × 440 mm (最大外形寸法)
電源部 .....	220 mm × 185 mm × 430 mm (最大外形寸法)
質量	
本体部 .....	29 kg
電源部 .....	15 kg

## ■付属品

リモコン .....	1
単 4 形乾電池(IEC R03) .....	2
電源コード .....	1
DC ケーブル .....	2
ポリシングクロス .....	1
フェルト .....	2
オーナーズクラブ登録カード .....	1
個人情報保護シール .....	1
保証書 .....	1
取扱説明書(本書)	

上記の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。



## 保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ店名・お買い上げ日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで、大切に保存してください。

保証期間は購入日から 1 年間です。

## 補修用性能部品の最低保有期間

弊社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 修理に関するご質問、ご相談

お買い求めの販売店へご相談・ご依頼ください。また、ご転居されたり、ご贈答品などでお買い求めの販売店に修理のご依頼ができない場合は、パイオニア修理受付窓口にご相談ください。

## 修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に取扱説明書の 15 ページの「故障かな？と思ったら」の項目をご確認ください。それでも正常に動作しないときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い求めの販売店へご依頼ください。

## 連絡していただきたい内容

- ご住所：
- お名前：
- お電話番号：
- 製品名：プリアンプ
- 型番：TAD-C600
- お買い上げ日：
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく具体的に）：
- 訪問ご希望日：
- ご自宅までの道順と目標（建物や公園など付近の目印）：

## ■保証期間中は：

修理に際しては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社の保証規定に基づき修理いたします。

## ■保証期間が過ぎているときは：

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

本製品は家庭用オーディオ機器（オーディオ・ビデオ機器）です。下記の注意事項を守ってご使用ください。

1. 一般家庭用以外での使用（例：店舗などにおけるBGMを目的とした長時間使用、車両・船舶への搭載、屋外での使用など）はしないでください。
2. 音楽信号の再生を目的として設計されていますので、測定器の信号（連続波）などの増幅用には使用しないでください。
3. ハウリングで製品が故障する恐れがありますので、マイクロフォンを接続する場合はマイクロフォンをスピーカーに向けたり、音が歪むような大音量では使用しないでください。
4. スピーカーの許容入力を超えるような大音量で再生しないでください。

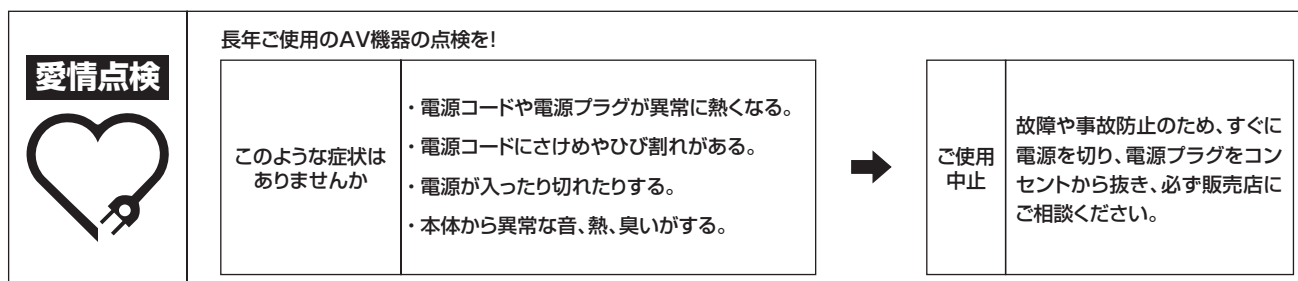
S026\_A1\_Ja

本機を末永くご愛用いただくために、次のような場所には設置しないでください。

- 直射日光のあたるところ
- 湿気の多いところや風通しの悪いところ
- 極端に暑いところや寒いところ
- 振動のあるところ
- ホコリやタバコの煙の多いところ
- 油煙、蒸気、熱があたるところ（台所など）

## 本機のお手入れ

本機の清掃は、付属のポリシングクロスでから拭きしてください。汚れがひどい場合は中性洗剤を5～6倍に薄めた水に柔らかい布を浸し、よく絞ったあと、汚れを拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの揮発性の薬品を用いるとパネルの表面が侵されることがありますので使用しないでください。またスプレー式の殺虫剤などを本機の近くでは使用しないでください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。



## 商品についてのご相談窓口

- 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

### パイオニアカスタマーサポートセンター TAD相談窓口

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00  
(土曜・日曜・祝日・パイオニアカスタマーサポートセンター休業日は除く)

電話  0120-995-823

ファックス 044-572-8103

※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

## 修理についてのご相談窓口

修理をご依頼される場合は、取扱説明書をご覧になり、故障かどうかご確認ください。  
それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

- お買い求めの販売店に修理の依頼が出来ない場合

### パイオニア修理受付窓口

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00  
(日曜・祝日・パイオニア修理受付窓口休業日は除く)

電話  0120-5-81028 ※ 携帯電話・PHS・一部のIP電話などからは、ご使用になれません。

一般電話 044-572-8100 ※ 携帯電話・PHS・IP電話などからご利用可能ですが、通話料がかかります。

ファックス  0120-5-81029


※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

## 部品のご購入についてのご相談窓口

- 部品(付属品、取扱説明書など)のご購入について

### パイオニア部品受注センター

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00  
(日曜・祝日・パイオニア部品受注センター休業日は除く)

電話  0120-5-81095 ※ 携帯電話・PHS・一部のIP電話などからは、ご使用になれません。

一般電話 044-572-8107 ※ 携帯電話・PHS・IP電話などからご利用可能ですが、通話料がかかります。

ファックス  0120-5-81096

※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

## インターネットホームページ

本書以外に下記ホームページもご覧ください。

<http://tad-labs.com/support/>

# TAD

TECHNICAL AUDIO DEVICES LABORATORIES, INC.

© 2012 株式会社 テクニカル オーディオ デバイセズ ラボラトリーズ  
禁無断転載

JIS C 61000-3-2適合品 D50-5-10-1\_A\_Ja

株式会社 テクニカル オーディオ デバイセズ ラボラトリーズ

〒160-0023 東京都新宿区西新宿4-15-3

<http://tad-labs.com>